

BEN STYLE

壱岐はよいよい
帰りは大変

社長 尾上大輔

さくらに乗って博多へ、フェリーまで時間があつたので天神へ、何と大都会。地下鉄を降りても、どちらが中州方向が解らずウロウロ、やっと方向も解り中州の屋台街へ向かう、どこのお店も行列が出来ている。少し遅れて開店準備をしていたお店へ。一番乗りで座らせてもらった。卵

めんだい、おでん、でビールを注文。あれ初



中洲屋台街

めてメニユー
焼きき

ラーメン

1000

円。これ

は初めて

やな。食

べとがないと注文する。これ

は何々美味です。皆様も見つけ

たら是非食べてね。中州からは

タクシーでフェリー乗場へ1

メートル、近いですね。22時

30分の対馬比田勝港行に乗船。

もちろん2等のザン寝部屋。早

めに並んだので寝るスペースを

確保でき、毛布は50円/枚で

貸してもらえました。約5時間

の船旅で比田勝港到着です。し

かし背中が痛い。痛い。やっ

ぱ人間の背骨って湾曲している



焼きラーメン

第241号

BenHouse

(記事はあくまでも個人の私感でございますので悪しからず。)

www.benhouse.co.jp

のね。被災地の避難所の苦しみ
が理解できました。島民の慣れた方は毛布2枚借りて、ソファに1人で陣取る。これはベッドに寝ているのと同様で快適そうだった。3時30分に比田勝港に到着。降りる人はすぐ降りてね。居座る人は7時までそのままでどうぞ。もちろん大ちゃん
は後者で寝直す。7時に追い出されて、予約したレンタカーを探す。1220の軽、停まってきました。カギは開いている。サンバイザーに鍵ね。離島の受け渡し法①でした。その後自走してSSで手続完了。対馬はレンタカーがないと無理。そして北から南への観光は比田勝港で借りて厳原での乗り捨ては必須です。それでは定番の韓国展望所へ向かう、ここは北への防衛地点で自衛隊の基地が置かれていて、祖国防衛の厳しさを感じられます。次は島の西岸を南下、和歌都美神社へ、海に島居が立

つ、パ
ワース
ポットで
す。次に
烏帽子岳
展望所か
ら多島海
を眺め
る。そこへ観光バスが10台も
登って来ました。日本人10人
なのに韓国人300人、話には
聞いていたがビックリです。釜
山から3時間だから博多より近
い。いちばん近い外国ですね。
納得であります。次に万間橋へ
行く。対馬の上島と下島は陸続
きだったが、平安時代・室町時
代・明
治時代
に運河
の開削
が進め
られ明
治時代
には運



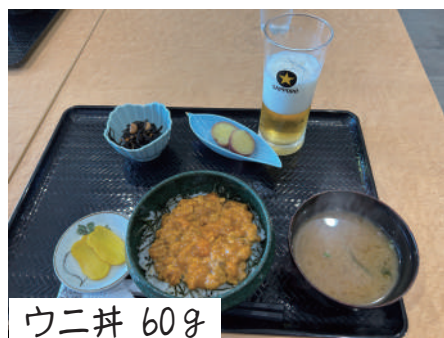
烏帽子岳展望所



和歌都美神社

河が開通しました。地名には小舟越しとか大舟越しの地名が今も残っています。巖原に入ると万松院、お給江跡、対馬博物館と見学して、東横インへ到着。

翌日は8時のフェリーで壱岐芦部港へ、11時5分着で予約のレンタカーを受取る。港でプラカードを持って待っていてくれた。これが離島の受渡し法②でありました。壱岐では勝本港を目指す。辰の島遊覧を予約したら町さんぽ。ここはウニが有名でありまして、海神(わだつみ)さんへ入店。ウニ丼は松竹梅とあり、『ごっつ違っのっ』『松は60g、竹は50g、梅は40gです』『それでは一生に一回の決断で松一出て来ました極上ウニ丼、それ



ウニ丼 60g

も生ウニです。とれたてホヤホヤ、なんて贅沢なんでしょう。これだけの身を取るには、ウニのイガイガの30個分位だね。ウニさんありがとう。次は辰の島遊覧船です。こちらはエメラルドブルーの海と砂浜で日本でも有数のきれいな海です。壱岐へ行ったら、必ず行けというスポットです。1人2000円で切り立った崖とか、マンモス岩とかを遊覧船で案内してくれます。1500円払つと辰の島へも上陸させてくれて、次の便で回収してくれます。皆様は是非1500円コースをおすすめいたします。勝本が終わったら、次は猿岩へ行こう。そのこの売店で



買ったマフィンを食べると、いきなり肩



ン、トビにマフィンを半分取られました。これは2回目の体験であります。トビさんも爪を立てないで体当たりして、スピードをゆるめ一瞬で獲物を奪っていきます。一瞬で何が起ったのかを『トビ注意』の看板でやっと解る人も多いのではないが。

『半分残ったマフィンは』『食べちゃいました。皆様は野生動物がさわった食べ物食べない様にね。ウイルスとか大変ですからね。と後で思った食いしんぼさんでした。そのあと、はらぼげ地蔵を見て、今夜の宿へ、一泊6000円のお部屋。安いのは理由あり、何と前はカラオケルーム。天井にはミラーボール。大ちゃんには食には甘く、宿はケ

チっている。さて今夜の夕食はと。壱岐牛焼肉いいね。17時頃散歩で回っていたらアルバイトのお兄さんが入口でタバコを吸っている。『予約出来るの?』『ダメです一杯です。』一卓のみテーブルが空いていますから並べば座れますよ。ではとオープンまで30分並ぶ。コナで京ちゃん

んと娘の2人も早く来いと呼ぶ。10分前に別の家族連れも並んで来ました。17時30分にオープンになり、入れたのはウチらだけ。後の人は2時間後になりますよとのアナウンスで、泣く泣く帰りました。やっぱ『ミニニケーションは大事ですね。さてさて、席について、ビールを注文。メニューを見ると極上コースが目に入る。ファミリーセット6800円も超お得と書いてある。店員さんにセットには極上コースも入ってるかと尋ねると、YESだって。そしたらセットに決定です。いつもの様に極



壱岐牛 うめしま

上肉は各自1枚ずつ焼いて食べる。必然的に食する枚数も均等になる。『やっぱり壱岐へ来たら壱岐牛ですね』やわらかくて美味しかったです。たまたまた行っていた焼肉屋さんは何回も表彰されている様で、表彰されたコーナーもありました。ラッキーでしたね。少しお高いにもかかわらず、後前の席では肉のお替りが頻繁でした。家族で3〜4万はかかっていそう。『壱岐の人にとってはおいしい肉いんはお金をかけるのねって』思いました。我が家はちなみに1万円チョイだったかなあ。めしは大、スープは1杯、キムチは1皿。そんなもんで満足満足。壱岐牛にしてはリーズ

ナブルでございました。翌日も別のレンタカーを借りたのだが、これが厄介なもの。アプリで全部完結タイプ。ちなみに予約した時のIDとパスワードが解らない、電話して遠隔で解錠してもらえました。グロブボックスに鍵が入っていて、スイッチを回すと利用開始。進んでいますね。アプリでレンタカー。今日は一支国博物館へ行きます。すぐここに興味があったのでツアーではなくプライベート家族旅行にいたしました。歴史ロマンを感じられる施設としては日本一かも。飛鳥と同じレベルですね。



一支国博物館

しかしここで問題発生。帰りの船の件フェリーだと思っていたら、ジェットfoil。これは飛行機と同じで予約制で予約がないと乗れません。次のフェリーもあるが、博多からの新幹線にギリギリ時間でヤバイ。電話すると、当日予約は出来ません。あ、港へ行って手続きをしてね。あと30席位空いていましたとの事。しょうがないので博物館が終わったたら郷之浦港へ向かった。何とか3席予約がとれてひと安心。あと5時間あるが安全策をとって、郷之浦の町観光に切替して、まずは昼食かな。古い町並が続き、昔からの町。海岸という料理屋でいかしと壱岐豆腐を注文。イカは新鮮、豆腐は固た固た。やっぱり本物は違うね。



ジェットfoil

津々浦々に美味いもんありでありました。港の駐車場に車を停めてアプリで利用終了。ちよつとメールを確かめるとIDが解ったので、うまく出来ました。2回目からは慣れたもんでいけそうです。タイムズもこんな感じなんでしょうが。一つレベルが上がってよかったです。港待ち合いで3時間過ごし、博多へ。満員バスにゆられて、博多から予約のさくらに乗車。予約していた列車に乗れてヤレヤレ。車掌アナウンスの『本日は自由席が超満員です。入口に固まらず中へ入ってください。指定席の4号車、5号車のデッキにも乗って下さい。』のヤバイアナウンスにもビールを飲みながらの旅の反省会で安堵を感じた。メダタシメダタシ。

